3076
東証 1 部

あい ホールディングス株式会社

2012 年 6 月期 第 1 四半期決算概要

2012 年 6 月期 第 1 四半期の決算発表を受け、あい ホールディングス株式会社（以下、あい HD）への個別取材を行いましたので、その概要をご案内申し上げます。

2012 年 6 月期 第 1 四半期 連結決算概要

2012 年 6 月期第1四半期の決算概要は【表 1】にあるとおりで、前年同期比、増収・増益を達成した。OEM 製品の在庫調整や円高による海外売上高の減少により、グラフテック（以下、GT）が行う情報機器事業が減収・減益となったものの、ドッドウェル BMS（以下、DW BMS）が手がけるカード機器が凸版印刷向けに堅調であったほか、粗利率の高いセキュリティ機器の販売が、マンション向け、企業向けともに拡大した。

マンション向けセキュリティ機器販売については、更新需要が追い風になってきている。あい HD が対象とする既設マンションにセキュリティ機器を導入する場合は、通常、管理組合を説得するなど、開拓に労力を要するが、DW BMS は、大手リース会社とタイアップし、リース物件としてマンション管理会社にアプローチする手法をとっている。これにより、世帯ごとの負担は、毎月のマンション管理費に含まれる保守料金、数百円と小さい。また、セキュリティシステム構築のための管や回線の使用権が確保できること、工事などに係る費用すべてを含めたリース物件にしたことから、再リース時の解約リスクを大幅に軽減できるスキームとなった。

●【表1】2012 年 6 月期 第 1 四半期 連結業績サマリ

連結	11/6月期 第1四半期		12/6月期 第1四半期		対前年同期	
（百万円）	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	6,785	100.0%	7,291	100.0%	506	7.5%
営業利益	718	10.6%	883	12.1%	165	23.0%
経常利益	833	12.3%	1,007	13.8%	174	20.9%
当期純利益	515	7.6%	589	8.1%	74	14.4%

※各表は、あい ホールディング（株）の開示データに基づき、（株）トリアスにて作成。

貸借対照表では、あい HD の経営方針であるバランスシート重視経営を継続している結果、無借金、高い自己資本比率（当四半期末 68.2%）を維持している。損益面では、投資有価証券評価損が 93 百万円発生し、特別損失 98 百万円を計上した。なお、現在、市況の影響を受ける投資有価証券の保有を最小限に抑える方針に切り替えているとのことで、評価損が純利益に与える影響を早期になくしていくとのことだ。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation. All rights reserved.

2012 年 6 月期 第 1 四半期 セグメント別業績概要

セグメント別の業績概要は【表 2】のとおりだが、各セグメントの動向につき、以下にまとめる:

セキュリティ機器 （前年同期比: 売上高 -0.3%、営業利益 +26.0%）

マンション向け、企業向けともに販売が堅調に推移し、2 桁の増益を確保した。今年以降期待されるマンション向け更新需要の立ち上がりは、今下期以降を想定。なお、売上高が前年同期比で減収になった要因は、防衛省向け大型セキュリティ案件がなくなったことによる。もっとも同事業は、利益率が相対的に低かったため、当四半期の前年同期比増益要因となった。企業向けに関しては、2011 年 1 月から、富士ゼロックスがあい HD のセキュリティシステム販売を開始したことによる効果が出てきているが、金融・証券業界向け販売は、新製品マルチアイシステムの導入があるものの、景気の不透明感から大幅増とはなっていない。

カード機器及び事務用機器 （前年同期比: 売上高 +41.8 %、営業利益+89.4%）

カード機器は、前期に引き続き、病院関連販売が順調に推移した。さらに、凸版印刷経由の金融向け大型案件の売上が立ったため、事務用機器を除くカード機器のみの売上高は、前年同期比 57.1%増収の 643 百万円、営業利益は同 120.1%増益の 146 百万円となった。

情報機器（前年同期比: 売上高 -13.8%、営業利益-19.9%）

主力製品であるカッティングプロッタやスキャナの欧州・アジアにおける販売が円高の影響を受け、減少した。国内も、スキャナの OEM 製品が在庫調整の影響を受けたため、減収となった。ちなみに、前年同期比 18.1%の減収となった GT 単体の情報機器売上高 1,194 百万円の内訳としては、国内は 20.4%減の 638 百万円、海外は 15.3%減の 556 百万円だった。なお、米国シルエット社のウェブビジネスについては、今下期以降の業績貢献を想定している。

計測機器及び環境試験装置（前年同期比: 売上高 -18.7%、営業利益-49.9%）

主力製品であるデータロガー（各種データを計測・保存する計器で、電圧、温度、湿度、ロジックなどの測定が可能）の販売は、前期に引き続き堅調であったが、光計測製品や環境試験器の売上が減少したため、減収・減益となった。前年同期比 8.1%の減収だった GT 単体の計測機器売上高について、国内は 5.1%減の 256 百万円、海外は 15.6%減の 91 百万円だった。

設計事業（前年同期比: 売上高 +14.7%、営業利益+530.7%）

前期に引き続き、耐震診断、耐震構造設計を中心に好調に推移し、大幅な増益となった。特に、耐震構造設計に比べ、耐震診断は手離れが良く、効率のいい事業モデルとなっている。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation. All rights reserved.

●【表 2】2012 年 6 月期 第 1 四半期 セグメント別業績概要

※事業を担当する主要事業会社

（百万円）		11/6月期 第1四半期 実績	12/6月期 第1四半期 実績	構成比	対前年同期 増減額	増減率
セキュリティ機器	売上高	1,359	1,355	18.6%	-4	-0.3%
※ドッドウェルBMS (DW BMS)	営業利益	202	254	28.8%	52	26.0%
	営業利益率	14.9%	18.7%	n.a.	-	-
カード機器及び	売上高	573	812	11.1%	239	41.8%
その他事務用機器	営業利益	94	179	20.3%	85	89.4%
※DW BMS	営業利益率	16.4%	22.0%	n.a.	-	-
保守サービス	売上高	489	454	6.2%	-35	-7.2%
※DW BMS	営業利益	66	68	7.7%	2	3.0%
	営業利益率	13.5%	15.0%	n.a.	-	-
情報機器	売上高	1,766	1,510	20.7%	-256	-14.8%
※グラフテック（GT）	営業利益	147	117	13.3%	-30	-19.9%
	営業利益率	8.3%	7.7%	n.a.	-	-
計測機器及び環境試験装置	売上高	668	543	7.4%	-125	-18.7%
※GT	営業利益	123	61	6.9%	-62	-49.9%
	営業利益率	18.4%	11.2%	n.a.	-	-
設計事業	売上高	816	936	12.8%	120	14.7%
※あい設計	営業利益	21	133	15.1%	112	530.7%
	営業利益率	2.6%	14.2%	n.a.	-	-
リース及び割賦事業	売上高	1,013	1,549	21.2%	536	52.9%
※DW BMS	営業利益	32	39	4.4%	7	21.9%
	営業利益率	3.2%	2.5%	n.a.	-	-
その他	売上高	123	139	1.9%	16	13.0%
	営業利益	-3	3	0.3%	6	n.a.
	営業利益率	-2.4%	2.2%	n.a.	-	-
調整額	売上高	-67	-31	-0.4%	36	-53.7%
	営業利益	32	24	2.7%	-8	-25.0%
合計	売上高	6,785	7,291	100.0%	506	7.5%
	営業利益	718	883	100.0%	165	23.0%
	営業利益率	10.6%	12.1%	n.a.	-	-

注）各セグメント別売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。

2012 年 6 月期 通期業績予想

2012 年 6 月期業績見通しについて、【表 3】にあるとおり、増収・増益を計画している。第 3 四半期以降、負ののれんの償却がなくなるため、本業による業績推移がわかりやすくなる。

あい HD が下期の業績貢献に期待している事業は以下のとおりだ。まず、セキュリティ機器事業で、マンション向け販売につき、下期以降、更新需要による拡販を想定している。同じくセキュリティ機器のマルチアイシステム（1 台のカメラでメガピクセルの鮮明画像による全方位管理が可能なセキュリティシステム）の需要も、

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation. All rights reserved.

足元顕在化し始めており、拡販を期待している。

次に情報機器事業で、GT の米国子会社シルエットの業績貢献を想定している。ハードウェアであるカッティングプロッタの販売はもちろん、ウェブ通販によるデザインコンテンツの拡販に期待。デザインコンテンツビジネスは、大きな経費がかからず、粗利が高いことが特徴で、すでに月次で 10 百万円を超える利益につながってきている。

●【表 3】2012 年 6 月期 通期業績予想

連結	11/6月期 実績			12/6月期 予想			対前期	
（百万円）	中間期	通期	構成比	中間期	通期	構成比	増減額	増減率
売上高	12,847	26,006	100.0%	13,700	27,700	100.0%	1,694	6.5%
営業利益	1,311	2,980	11.5%	1,350	3,100	11.2%	120	4.0%
経常利益	1,548	3,462	13.3%	1,550	3,500	12.6%	38	1.1%
当期純利益	1,015	2,254	8.7%	1,000	2,200	7.9%	-54	-2.4%

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation. All rights reserved.

ご参考

●連結主要指標と業績の推移

発行済み株式数(株)	2011.9月	56,590,410
うち自己株式数(株)	2011.9月	1,871,312
時価総額(百万円)	2012.1.11	18,618
1株当純資産(円)	2011.6月	415.93
ROE(%)	2011.6月	9.9
ROA(%)	2011.6月	7.1
PER(倍)	2012.6月予	8.2
PCFR(倍)	2011.6月	7.2
PBR(倍)	2011.6月	0.8
株価(円)	2012.1.11	329
単元株数(株)	2011.9月	100
日々平均出来高(株)	2012.1.11	91,017

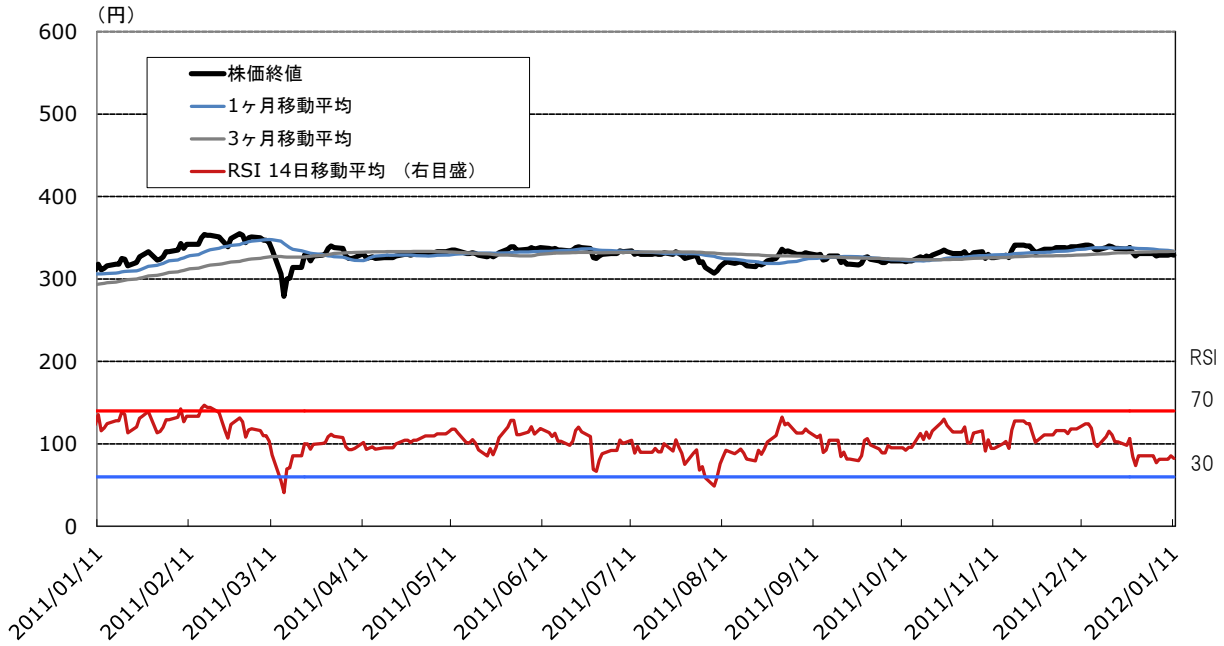
総資産(百万円)	2011.6月	31,814
自己資本(百万円)	2011.6月	22,760
有利子負債(百万円)	2011.6月	0
自己資本比率(%)	2011.6月	68.2
有利子負債比率(%)	2011.6月	0
フリーキャッシュフロー(百万円)	2011.6月	4,157

注:ROE=当期純利益÷期末自己資本
ROA=当期純利益÷期末総資産
PCFR=時価総額/(当期純利益+減価償却費)
日々平均出来高=過去1年間の平均
有利子負債比率=有利子負債÷自己資本
フリーキャッシュフロー(FCF)=営業CF+投資CF

連結 (百万円)	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配(円)
2008年6月期	23,674	1,797	1,934	609	11.10	20.00
2009年6月期	23,308	1,548	2,076	966	17.60	20.00
2010年6月期	25,855	2,312	2,915	2,132	38.85	16.00
2011年6月期	26,006	2,980	3,462	2,254	41.16	16.00
予2012年6月期 中間期	13,700	1,350	1,550	1,000	18.28	8.00
予2012年6月期	27,700	3,100	3,500	2,200	40.21	16.00

注: 2012年6月期予想は、2011年8月19日発表の会社予想

●株価チャートと RSI



出所: Bloombergのデータをもとに Trias作成
注: RSI(Relative Strength Index)とは株価の「買われ過ぎ度」や「売られ過ぎ度」を指数で表したもの
一般的にRSIが70を超えると高値圏、30以下では安値圏に位置していると言われている
RSI= N日間の値上がり幅平均÷(N日間の値上がり幅平均+N日間の値下がり幅平均)x100

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見は当該説明会時、ならびに/あるいは取材時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

Copyright © 2012 Trias Corporation. All rights reserved.